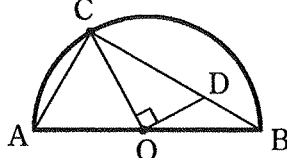


問題番号	正 答	配点
[問1]	$3-5\sqrt{3}$	6
[問2]	男子 24 人, 女子 16 人	6
[問3]	$\frac{1}{3}$	6
[問4]	$6\sqrt{3}$ cm	6
1 [問5] 解答例		6
[問1]	$y = -\frac{2}{3}x + 5$	7
2 [問2] 解答例	<p>【途中の式や計算など】</p> <p><math>m</math> 秒後の点 Q, R の座標は,  <math>Q(0, m), R(m-2, (m-2)^2)</math>                  2点 Q, R を通る直線が <math>x</math> 軸に平行になるのは,                  2点 Q, R の <math>y</math> 座標が等しいときだから,  <math>(m-2)^2 = m \quad m^2 - 4m + 4 = m</math>  <math>m^2 - 5m + 4 = 0 \quad (m-1)(m-4) = 0</math>                  したがって, <math>m = 1, 4</math>                  よって, <math>s = 1, t = 4</math> となる。                  1秒後の点 R の位置が S だから, <math>S(-1, 1)</math>                  4秒後の点 R の位置が T だから, <math>T(2, 4)</math>                  よって, <math>\triangle OST = \frac{(1+4) \times 3}{2} - \frac{1}{2} \times 1 \times 1 - \frac{1}{2} \times 2 \times 4 = 3 \text{ cm}^2</math></p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">                     答え <math>3 \text{ cm}^2</math> </div>	10
[問3]	$a = \frac{5}{3}$	7

問題番号		正 答	配点
3	[問1]	42 度	6
	[問2]	<p>① 解答例</p> <p style="text-align: center;">【証 明】</p> <p>△ABCと△DCOにおいて、                      ∠ACBは半円の弧に対する円周角なので、∠ACB=90°                      仮定より∠DOC=90°                      したがって、∠ACB=∠DOC=90° … ①                      OB=OCより△OBCは二等辺三角形なので、∠OBC=∠OCB                      よって、∠ABC=∠DCO … ②                      ①、②より、2組の角がそれぞれ等しいから、                      △ABC∽△DCO … ③                      ③より、AB:DC=BC:CO                      したがって、DC×BC=AB×CO … ④                      ここで、CD=x、BC=y、OA、OCは円Oの半径、                      ABは円Oの直径だから、AB=2r、CO=r                      これらを④に代入して、xy=2r<sup>2</sup>となる。</p> 	10
	②	CD : DB = 25 : 7	7
4	[問1]	$\sqrt{2}$ 倍	6
	[問2]	4 cm	7
	[問3] 解答例	<p style="text-align: center;">【説 明】</p> <p>『操作X』を続けて行ったときの2辺の長さの比を求めると、                      1回目終了後の2辺の長さは14 cm、6 cm より 2辺の長さの比は、14 : 6 = 7 : 3                      2回目終了後の2辺の長さは 7 cm、6 cm より 2辺の長さの比は、7 : 6                      3回目終了後の2辺の長さは <math>\frac{7}{2}</math> cm、6 cm より 2辺の長さの比は、<math>\frac{7}{2} : 6 = 7 : 12</math>                      4回目終了後の2辺の長さは <math>\frac{7}{2}</math> cm、3 cm より 2辺の長さの比は、<math>\frac{7}{2} : 3 = 7 : 6</math>                      4回目終了後の2辺の長さの比と2回目終了後の2辺の長さの比が等しいことから、                      4回目終了後の長方形と2回目終了後の長方形は相似である。                      したがって、4回目以降は、2辺の長さの比は                      7 : 6、7 : 12、7 : 6、7 : 12、……を繰り返すので『操作X』を何回繰り返しても                      正方形(辺の長さの比が1 : 1)になることはない。</p>	10